

2019 Tahmazo フェスティバル in 京都 詳細競技ルール

競技1：電動グライダーによる滞空競技

- ・翼長最大2mまでです。
- ・同時飛行を行いますので2.4GHz帯無線機で参加願います。
- ・モーター、翼幅に制約なし、電圧は無負荷時51V以下。
- ・機体には識別コード（模型飛行士、ラジコン操縦士記号など）を表示すること。
- ・参加される方は出来るだけストップウォッチを持参、競技の進行にご協力ください。

競技ルール

1. 予選は2ラウンド、5名のグループで6分MAXで行う。
2. モーターランは30秒。時間内に停止しても良いがそれ以降に再起動すれば計時終了。
3. 合図と同時に発航、計時開始。機体の一部が接地する瞬間までの時間を計る。
4. 予選1Rは当日発表のゼッケン順に5名ずつ同時飛行。
5. 予選2Rは成績上位から5名ずつフライト。
6. 得点はポイント制で1位20点、2位12点、続いて8点、6点、5点とします。
7. 同着の場合は同着順位の得点を合計し、同着者で等分に分配します。
8. 予選2ラウンドの得点を合計し、予選上位者15人程度で決勝飛行。
9. 決勝は飛行時間無制限。モーターランは30秒。
10. 予選、決勝を問わず機体は変更しても良い。
11. 当日の気象状況、参加人数などにより飛行時間等を変更する場合があります。
12. 飛行上限高度、空域は事前に周知しますので、厳密に守っていただきます。

競技2：タイムラリー&タッチアンドゴー競技

- ・2つの種目の得点合計で順位を決定します。
- ・改正航空法の施行に伴い、2種目とも飛行上限高度は地上150m以下でお願いします。

種目1：タイムラリーのルール

1. 3分間のタイムラリー。
2. 上空でトリム等を合わせた後、計時スタート。タイミングはジャッジがコールします。
3. スタートから1秒ごとに1点を加点。3分を超えると1秒につき2点ずつ減点。
4. 定点着陸。滑走路に40m間隔でラインを描きます。40m内は20点加点（最初に接地したポイントで判定）。着陸姿勢は問いませんが明らかな墜落は加点しません
5. 当日の気象状況等により競技時間等を変更する場合があります。

種目2：タッチアンドゴーのルール

1. 離陸スタートから3分間で滑走路に何回タッチ&ゴーが出来るかを競います。
2. 設地後、次の設地までには180度以上の旋回がなければなりません。
3. 滑走路と直角に40m間隔の平行線を引き、一回のパッシングで必ず両方の線（の延長線上）を超えること。

4. 接地の後、「動力飛行で」進入と反対側の線を超えた時点で1回とカウントする。
5. 1回につき10点を加点。時間内であれば再スタートや部品交換は可能。
6. エンジン機は30%のボーナスポイントを加算します。

競技3：チームタッチアンドゴー競技（参加費無料）

- 3人1チームで時間内（3.分間）のタッチアンドゴー回数を競います。
- 各機体には、1.2.3のナンバーをジャッジから見やすい所に掲示しておいてください。
- ナンバーの順番にタッチアンドゴーを行います。順番を飛ばすことはできません。
- 時間内であれば、エンジンの再始動、プロペラ交換等は可能です。

お願い：選手の皆さんはスケジュール表・エントリーリストを常に確認し、出番が近づけば本部横に待機して、スムーズな競技進行にご協力願います。

(以上)